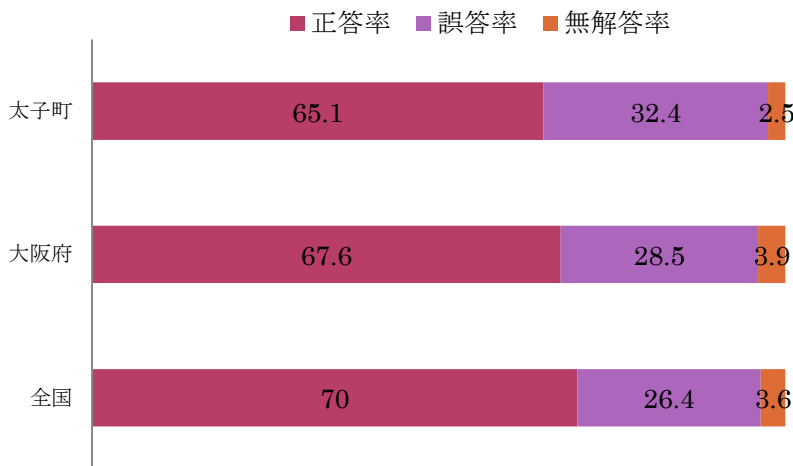


平成27年度 全国学力・学習状況調査

国語 A

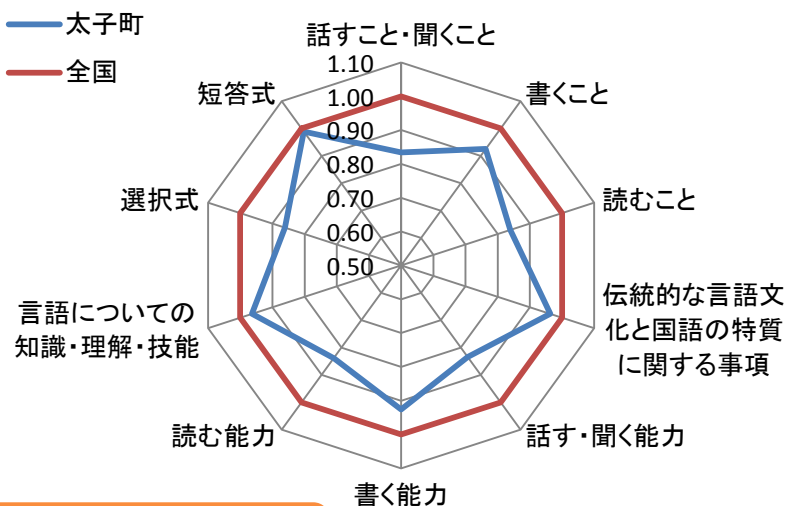
正答率比較



全国の平均正答率が、70.0%であるのに対し、太子町の平均正答率は65.1%であり、4.9ポイント下回った。

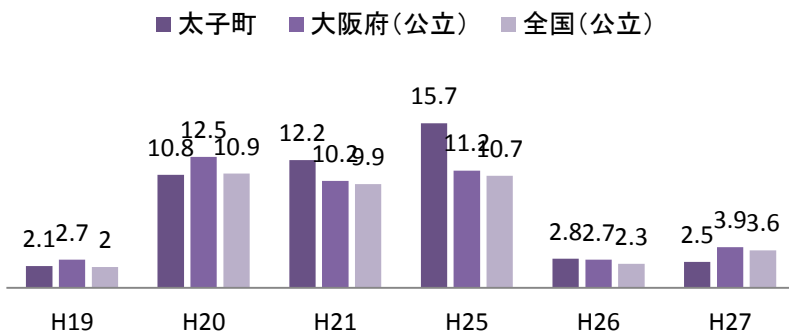


全国平均正答率を「1」としたときの大阪府・太子町の平均正答率との比較



短答式など自分の考えを「書くこと」に関して成果が表れつつあるが、「話すこと・聞くこと」、「話す・聞く能力」「読む能力」が低い値を示しており、内容理解やまとめる力、読解力の面で課題がある。

無解答率



無解答率の全国との差を経年比較すると、平成21年は2.3ポイント、平成25年は5ポイントだったのが、今年度は-1.1ポイントとなり、答えようとする意欲が見られる。



成果と課題

全体的に全国平均を下回っており、特に「話す・聞く能力」は例年、全国および府の平均正答率より低く、依然として課題となっている。

「書くこと」「書く能力」に改善が見られ、特に短答式の正答率が全国平均に近づいたのは、各学校での取組の成果といえる。しかし、コラムの中で筆者が引用している言葉を捉え、表現の工夫をする問題では正答率は低く、さらなる改善が必要である。

「無解答率」は、昨年度を上回る改善が見られ、難解な問題にも意欲的に取り組む姿勢が見られる。